

旧江戸城の清水門前で。江戸城は日本最大の城。2017年に鳥根県松江市の松江歴史館で「江戸始図」を千田先生が再発見。その後の研究の結果、徳川家康が造った江戸城の姿は、中心部に大天守と小天守を多門櫓で結んだ「連立式天守」があることが判明した。現存する城では姫路城のような姿で、壁は真っ白で屋根瓦は鉛瓦だった。

## 城の研究は、 地域の今と未来をよりよくするのに役立つ

聞き手●渡邊直樹 本誌編集長、一寸木紀夫 本誌 写真●河野利彦

お城について、NHKの歴史番組などでわかりやすく、そして楽しく解説してくれる千田先生は城郭考古学の第一人者。城の発掘調査・整備・講演にと、全国そして世界各地を巡るなか、城の役割の過去・現在・未来を伺った。

# 千

巻頭インタビュー

# 田

# 嘉

城郭考古学者  
奈良大学文学部文化財学科 教授

# 博

*Yoshihiro Senda*

1963年、愛知県生まれ。  
中学1年のときに見た姫路城に感銘を受け、  
中・近世の城跡探検を始める。86年、奈良大学文学部文化財学科卒業。  
2001年、国立歴史民俗博物館考古研究部助教授。  
09年より、奈良大学教授。14年から16年まで、奈良大学学長。  
著書に「戦国の城を歩く」  
「織豊系城郭の形成」など多数。